

美術

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
9	開 隆 堂	美術
38	光 村	美術
116	日 文	美術

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 題材の目標等の示し方	題材の目標等の表記の仕方と具体例
		② [共通事項]を視点とした学びの示し方	[共通事項]を視点とした学びの示し方と具体例
		③ 形や色彩, 材料や用具の取扱い等の定着を図るための工夫	形や色彩, 材料や用具の取扱い等に関する記載と具体例
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④ 興味・関心を高めるための工夫	表現及び鑑賞への興味・関心を高めるための工夫と具体例
		⑤ 表現と鑑賞の関連を図った学習活動	表現と鑑賞の関連を図った学習活動の示し方と具体例
		⑥ 生活や社会の中の美術の働きを実感するための工夫	生活や社会の中の美術の働きを示す具体例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑦ 題材の配列	題材数, 構成や配列
(エ)	内容の表現・表記	⑧ 作品等についての示し方の工夫	作品等や造形活動の示し方と具体例
(オ)	言語活動の充実	⑨ 表現及び鑑賞の活動における言語活動の工夫	発想や構想, 鑑賞の場面における言語活動の示し方と具体例

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①題材の目標等の示し方
方法	題材の目標等の表記の仕方と具体例

	題材の目標等の表記の仕方	具体例
開 隆 堂	<p>○ 題材を通して身につけたい力を「知識や技能に関する目標」、「思考力・判断力・表現力に関する目標」、「学びに向かう力に関する目標」として、マークとともに示している。</p> <p>○ 「学習のポイント」を示している。</p>	<p>第1学年 「心ひかれる風景」</p> <p>知 風景のとらえ方を理解し、色彩や構図を工夫して表そう。</p> <p>思 身近な風景から感じ取ったよさや美しさをもとに表したいことを考えよう。</p> <p>学 身近な場所を表すことに興味をもち、表現することを楽しもう。</p> <p>【学習のポイント】 身近な風景を観察し、よさや美しさを見つけよう。</p>
光 村	<p>○ 題材で身につける力を、「表現」と「鑑賞」の領域ごとに、目標として示している。</p> <p>○ 活動の手立てとなる文章を「鑑賞」と「表現」のアイコンとともに示している。</p>	<p>第1学年 「心ひかれるこの風景」</p> <p>○ 自分が心ひかれる風景を見つけ、そのときの気持ちをどのようにあらわすかを考えて、工夫して描く。(表現)</p> <p>○ 作品を鑑賞し、その風景を描いた作者の思いや表現の工夫を感じ取る。(鑑賞)</p> <p>鑑賞 作者はこの風景のどこに心ひかれたのだろうか。想像してみよう。</p> <p>表現 少し視点を変えるだけで、日常の風景が急に生き生きと見えてくることがある。見慣れた風景を、新しい視点で捉え直してみよう。</p> <p>表現 学校の「とっておきの場所」を描こう。</p> <p>鑑賞 生徒作品の構図や色づかいの工夫を見てみよう。</p>
日 文	<p>○ 題材ごとに身につけたい力を、「造形的な見方を豊かにする視点や、技能に関する目標」、「発想や構想、鑑賞に関する目標」、「主体的に学習に取り組むための目標」として、マークとともに示している。</p> <p>○ 題材名とともに、活動や目的を表すサブタイトルを示している。</p>	<p>第1学年 「あなたなりの視点で描く なぜか気になる情景」</p> <p>知 形や色彩、全体の様子などに着目し、そこから生じるイメージをとらえ、絵の具の使い方を工夫して表す。</p> <p>思 身近な場所のイメージなどをもとに、形や色彩、構図などの工夫を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>学 気になる場所を見つけ、その特徴をとらえて表すことに興味を持ち、意欲的に取り組む。</p>

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②〔共通事項〕を視点とした学びの示し方
方法	〔共通事項〕を視点とした学びの示し方と具体例

	〔共通事項〕を視点とした学びの示し方	具体例
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習のポイント」や学習の進め方を示すコーナーに、〔共通事項〕に着目するよう促すコメントを掲載している。 ○ 作家や生徒の作品に、表現意図とともに、〔共通事項〕を踏まえた作者の言葉を掲載している。 	<p>第2・3学年 「明かりの形」 光の透過性を考えて材料を選び、表現方法を工夫しよう。</p> <p>【光の効果を確かめる】 材料と色を含めた光源の違いによる影の変化も見てみよう。</p> <p>【作家の作品・作者の言葉】 和紙を透かしてくる明かりは、ほどよく光を分散させて部屋全体に柔らかい光を流してくれる。「AKARI」は光そのものが彫刻であり、陰のない彫刻作品なのです。</p> <p>【生徒作品・作者の言葉】 ドレスのすその形の美しさを追求した。色にもこだわった。</p>
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表現と鑑賞の活動のはじめに、〔共通事項〕を視点とした活動を促す文を掲載している。 ○ 生徒作品に、表現意図とともに、〔共通事項〕を踏まえた作者の言葉を記載している。 	<p>第2・3学年 「あかりがつくる空間」 鑑賞：それぞれのあかりから、どのような印象を受けるだろう。あなたなら、どんな場所で使いたいだろう。 表現：空間を演出するあかりをつくろう。</p> <p>【生徒作品・作者の言葉】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 夜景が好きなので、ビルやマンション、学校などの窓から漏れる光をあらわしました。建物だけでなく空の色も表現しました。 ○ 寂しいときも寄り添ってくれるような優しい光にしたかったので、花を題材に選びました。 ○ 壮大な宇宙にあるさまざまな光を一つの作品にあらわしました。石膏テープを通して漏れる光は、満天の星空のイメージです。
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「造形的な視点」を吹き出しで示し、〔共通事項〕に着目するよう促したり、〔共通事項〕に着目した活動を促す資料や文章を掲載したりしている。 ○ 生徒作品に、表現意図とともに、〔共通事項〕を踏まえた作者の言葉を記載している。 	<p>第2・3学年 上 「空間に光を飾ろう ジジジチカピカ ポッ ポッ パッ」</p> <p>【造形的な視点】 光の印象は、ランプシェードのどのような工夫から生じるのだろうか。</p> <p>【光の違いを比べて感じよう】 自然や人工の光は、「きらめく」「ぼかぼか」「仄明かり」などの言葉で表されるように、豊かな表情をみせます。また、照明に用いられる材料によって、光の感じはさまざまに変化します。</p> <p>【空間に影をつくろう】 影にも着目し空間を飾りましょう。材料や光源の工夫によって変わる光や影の表情を楽しみましょう。</p> <p>【生徒作品・作者の言葉】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 光の通し方は、素材によって違うことがわかった。手で和紙をちぎり、くしゃくしゃにして温かみのあるあかりになったので、白い壁の家に飾ることが楽しみです。 ○ 部屋に置いた時、光の花があつたら癒やされると思いつきました。色はそれほど塗らずにテラコッタそのものの色を生かしました。

【美術】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	③形や色彩，材料や用具の取扱い等の定着を図るための工夫
方法	形や色彩，材料や用具の取扱い等に関する記載と具体例

	学年	形や色彩，材料や用具の 取扱い等に関する記載	具体例
開 隆 堂	1	○ 巻末に「学びの資料」を設け，形や色彩，材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を幅広く掲載している。	○ 鉛筆で表す ○ 構図をとらえる ○ 絵の具で表す ○ 文字を活用する ○ 紙や木を切る・削る ○ 焼き物の成形 ○ 作品を展示する ○ 色を学ぶ、色を知る ○ 美術館を楽しむ
	2・3	○ 巻末に「学びの資料」を設け，形や色彩，材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を幅広く掲載している。	○ 奥行き表現 ○ 版画の種類 ○ 金属や石を加工する ○ 染める・編む ○ 映像メディアを活用する ○ 漫画の試み ○ アニメーションの技法 ○ ともに学ぶ美術 ○ 日本の伝統色と配色文化 ○ 美術の歴史と交流
光 村	1	○ 巻末に「学習を支える資料」を設け，形や色彩，材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を幅広く掲載している。	○ どれで描く？どれで塗る？ ○ 描いてみよう ○ さまざまな描き方 ○ 版画の楽しみ ○ 文字をデザインする ○ 紙でつくる ○ 粘土でつくる ○ 木でつくる ○ 形の世界を知ろう ○ 色や光の特徴を知ろう ○ 美術館を楽しもう ○ 美術鑑賞を楽しむ手がかり
	2・3	○ 巻末に「学習を支える資料」を設け，形や色彩，材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を幅広く掲載している。	○ 発想を広げる ○ 写真や映像を撮影する ○ 映像で広がる世界 ○ 金属でつくる ○ 石でつくる ○ 材料の可能性 ○ 色を組み合わせる ○ 日本の伝統色 ○ 海を越えた文化交流 ○ 美術史年表 ○ 日本の伝統工芸 ○ 日本と世界文化遺産 ○ 地域と美術のつながり ○ 美術の力

【美術】

日 文	1	○ 巻末に「学びを支える資料」を設け、鑑賞用の資料とともに、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を幅広く掲載している。	○ 発想・構想の手立て ○ 鉛筆で描く ○ 水彩で描く ○ さまざまな技法で描く ○ 遠近感を表す ○ 文字の基本 ○ 木版画 ○ コラグラフ ○ 材料を知ろう ○ 木工の技法 ○ 焼き物をつくる ○ 自然界や身の回りにある形や色彩 ○ 色彩の基本・仕組み ○ 日常の中の美術 ○ 美術館へ行こう
	2・3 上	○ 巻末に「学びを支える資料」を設け、鑑賞用の資料とともに、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を幅広く掲載している。	○ 岡本太郎“芸術はみんなのもの” ○ 暮らしに息づくパブリックアート ○ 北斎の大波 ○ 水墨画の表現 ○ 写真で表現する ○ 立体を描く ○ 人物をつくる ○ 木でつくる ○ 金属でつくる ○ 絵巻物の世界 ○ 日本美術と世界の美術の歩み ○ 色彩の特徴を深く知る ○ 日本の伝統色
	2・3 下	○ 巻末に「学びを支える資料」を設け、鑑賞用の資料とともに、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を幅広く掲載している。	○ 火焰型土器 ○ さまざまなアートに触れよう ○ 日本の世界文化遺産 ○ 受け継ぐ伝統と文化 ○ 仏像の種類 ○ 美術文化の継承 ○ トリックアート ○ デペイズマン ○ 石を彫る ○ 布を染める ○ 動画をつくる

【美術】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④興味・関心を高めるための工夫
方法	表現及び鑑賞への興味・関心を高めるための工夫と具体例

	学年	表現及び鑑賞への興味・関心を高めるための工夫と具体例	
開隆堂	1	表現	○ 作家や生徒の作品を掲載するとともに、生徒の活動の様子を写真で示すことによって、興味・関心を高めている。 ・「見ることからの発見」
		鑑賞	○ 作品全体を折り曲げの大型図版で掲載し、作品全体を拡大したり、一部を原寸大の図版で示したりしている。 ・「樹花鳥獣図屏風」伊藤若冲（原寸大）
	2・3	表現	○ 生活や社会の中にある美術に関する写真を掲載することで、興味・関心を高めている。 ・「ピクトグラムとサイン計画」
		鑑賞	○ 作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で掲載し、作品の一部や全体を拡大して示している。 ・「紅梅図襖」狩野山楽 ・「誕生」池田学 ・「ボウルを持つデーモン」ダミアン・ハースト
光村	1	表現	○ 作家や生徒の作品を掲載するとともに、生徒の様子を学習活動の過程に分けて写真で示す等により、興味・関心を高めている。 ・「見つめ、感じ取り、描く」
		鑑賞	○ 和紙のような風合いのある紙に印刷し、実際の作品の仕上がりに近づけている。 ・「星空をペガサスと牛が飛んでいく（『虹の上をとぶ船 総集編Ⅱ』より）」生徒作品 ・「瀬戸内海集 帆船（朝）」吉田博 ○ 作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で掲載し、彫刻作品と屏風絵作品を比較できるように示している。 ・「風神・雷神像」国宝 ・「風神雷神図屏風」俵屋宗達
	2・3	表現	○ 生活や社会の中にある美術に関する写真を掲載することで、興味・関心を高めている。 ・「わかりやすく情報を伝える」
		鑑賞	○ 作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で掲載し、作品の一部や全体を拡大したり、原寸大の図版で示したりしている。 ・「阿修羅像」（原寸大） ・「神奈川沖浪裏」葛飾北斎（原寸大） ・「星月夜」フィンセント・ファン・ゴッホ ・「ゲルニカ」パブロ・ピカソ ○ 和紙のような風合いのある紙に印刷し、実際の作品の仕上がりに近づけている。 ・「鳥獣人物戯画 甲巻」（原寸大） ・「火の鳥」手塚治虫 ○ 一点透視図法などの作者の表現の工夫を、トレーシングペーパーに書き込むことで、実感を伴って理解できるようにしている。 ・「最後の晚餐」レオナルド・ダ・ヴィンチ ○ 作品とそれを見ている少年の写真を掲載することで、作品の大きさを実感できるようにしている。 ・「『ゲルニカ』を見る少年」エリオット・アーウィット

【美術】

日 文	1	表現	○ 作家や生徒の作品を掲載するとともに、生徒の活動の様子を写真で示すことによって、興味・関心を高めている。 ・「感じ取ったことをスケッチに 見つめると見えてくるもの」
		鑑賞	○ 作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で掲載し、作品の一部や全体を拡大したり、一部を原寸大で示したりしている。 ・「遮光器土偶」(原寸大) ・「風神雷神図屏風」俵屋宗達 ・「燕子花図」尾形光琳
	2・3 上	表現	○ 生活や社会の中にある美術に関する写真を掲載することで、興味・関心を高めている。 ・「単純化・強調で情報を整理する ひと目で伝えるための工夫」
		鑑賞	○ 作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で掲載し、作品の一部や全体を拡大したり、原寸大で示したりしている。 ・「星月夜」フィンセント・ファン・ゴッホ(原寸大) ・「印象一日の出」クロード・モネ(原寸大) ・「三世大谷鬼次の奴江戸兵衛」東洲斎写楽 ・「当時三美人」喜多川歌麿 ・「神奈川沖浪裏」葛飾北斎(原寸大)
	2・3 下	鑑賞	○ 作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で掲載し、作品の一部や全体を拡大したり、一部を原寸大で示したりしている。 ・「サグラダ・ファミリア聖堂」アントニ・ガウディ ・「誕生」池田学(原寸大) ・「火焰型土器」(原寸大)
			○ 作品に女子中学生の平均身長シルエット像を並べて示すことで、作品の大きさを実感できるようにしている。 ・「ゲルニカ」パブロ・ピカソ

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤表現と鑑賞の関連を図った学習活動
方法	表現と鑑賞の関連を図った学習活動の示し方と具体例

表現と鑑賞の関連を図った学習活動の示し方と具体例	
開隆堂	○ 作家や生徒作品及び作者の言葉を掲載することで、様々な材料の特徴を生かした表現の工夫を知り、それらを活用した表現活動へ展開できるようにしている。 ・第1学年 「よみがえる材料」 ・第2・3学年 「想像の世界を表す」
光村	○ 作家や生徒作品及び作者の言葉を掲載することで、様々な材料の特徴を生かした表現の工夫を知り、それらを活用した表現活動へ展開できるようにしている。 ○ 一つの題材の中で表現と鑑賞のアイコンを掲載し、相互に関連した学習の流れを示している。 ・第1学年 「材料に命を吹き込む」 ・第2・3学年 「空想の世界へようこそ」
日文	○ 作家や生徒作品及び作者の言葉を掲載することで、様々な材料の特徴を生かした表現の工夫を知り、それらを活用した表現活動へ展開できるようにしている。 ○ 一つの題材の中で、表現と鑑賞の活動を表すインデックスを重なり合うように掲載し、相互の学習の関連を示している。 ・第1学年 「じっくり見て、感じながらつくる 材料に命を吹き込む」 ・第2・3学年 上 「印象や感情を表す 心のイメージを形に」 ・第2・3学年 下 「想像の世界を表す 空想は現実を超えて」

【美術】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥生活や社会の中の美術の働きを実感するための工夫
方法	生活や社会の中の美術の働きを示す具体例

	学年	生活や社会の中の美術の働きを示す具体例
開隆堂	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多くの題材に、生活の中の美術について考えるきっかけとなる写真等を掲載している。 ○ デザインや工芸等の題材のはじめに「デザインや工芸で学ぶこと」の特設ページを設け、生活の中の美術との関わりの例を具体的に示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「デザインや工芸で学ぶこと」
	2・3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多くの題材に、生活や社会とのつながりや美術の役割について考えるきっかけとなる写真等を掲載している。 ○ 3年間の学習のまとめとして、「美術の力を生かして社会とかかわる」の特設ページを設け、社会における美術の役割や社会への広がりについて示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「美術の力を生かして社会とかかわる」
光村	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多くの題材に、生活の中の美術について考えるきっかけとなる写真等を掲載している。 ○ デザインや工芸等の題材のはじめに「デザインってなんだろう？」の特設ページを設け、一日の流れに沿った生活の中の美術との関わりを具体的に示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「デザインって何だろう？」
	2・3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多くの題材に、生活や社会とのつながりや美術の役割について考えるきっかけとなる写真等を掲載している。
日 文	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多くの題材に、生活の中の美術について考えるきっかけとなる写真等を掲載している。 ○ デザインや工芸等の題材のはじめに「デザインや工芸との出会い 人の暮らしを豊かに」の特設ページを設け、生活の中の美術との関わりの例を具体的に示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「デザインや工芸との出会い 人の暮らしを豊かに」
	2・3 上・下	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多くの題材に、生活や社会とのつながりや美術の役割について考えるきっかけとなる写真等を掲載している。 ○ 下の巻末に「社会に生きる美術の力」の特設ページを設け、異なる分野で活躍する3名の言葉を紹介し、美術の学びと生活や社会とのつながりについて示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「社会に生きる美術の力」

【美術】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦題材の配列
方法	題材数, 構成や配列

	学年	各項目の題材数			題材数 合計	構成や配列
		絵や 彫刻など (鑑賞)	デザイン や工芸な ど (鑑賞)	鑑賞		
開 隆 堂	1	8 (2)	9 (3)	0	17	○ 題材を分野等に分けて配列している。 ・「絵や彫刻など」 ・「デザインや工芸など」 ・「鑑賞」 ・「まとめ」 ・「学びの資料」 ※2・3学年の鑑賞の項目には、「鑑賞」と「まとめ」の項目の題材を含む。
	2・3	11 (2)	14 (2)	14	39	
光 村	1	9 (3)	8 (2)	0	17	○ 題材を分野等に分けて配列している。 ・「絵や彫刻など」 ・「デザインや工芸など」 ・「学習を支える資料」
	2・3	14 (4)	8 (2)	0	22	
日 文	1	10 (3)	9 (2)	0	19	○ 題材を分野等に分けて配列している。 ・「絵や彫刻など」 ・「デザインや工芸など」 ・「学習を支える資料」
	2・3 上	9 (3)	9 (3)	0	18	
	2・3 下	10 (4)	7 (1)	0	17	

※「絵や彫刻など」と「デザインや工芸など」の項目の()には、鑑賞の題材の数を示している。

【美術】

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑧作品等についての示し方の工夫
方法	作品等や造形活動の示し方と具体例

作品等や造形活動の示し方と具体例	
開 隆 堂	<p>第1学年 「ロゴマークで印象づける」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 社会の中で使われているロゴマークを幅広く取り上げ、表現意図とともに示している。 ○ 生徒作品や作者の言葉及び表現意図を示している。 ○ 学習の流れに沿って、活動ごとに写真等とコメントで示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「クラスのシンボルマークをデザインしよう」 ○ デザインと社会のつながりの例を示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「デザインの力で地域を変える～今治をデザインで活発に～」
光 村	<p>第1学年 「印象に残るシンボルマーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 社会の中で使われているシンボルマークを幅広く示している。 ○ 生徒作品や作者の言葉及び表現意図を示している。 ○ 発想・構想を練るためのアイデアスケッチを複数示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「I'm fine」 ○ デザインと社会とのつながりを示す例を示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「オリンピック・パラリンピックのシンボルマーク」
日 文	<p>第1学年 「イメージを形や色彩で伝える 印象に残るシンボルマーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 社会の中で使われているロゴマークを幅広く取り上げ、表現意図とともに示している。 ○ 生徒作品や作者の言葉及び表現意図を示している。 ○ 学習の流れに沿って、活動を促すコメントを示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「地域のマークを調べてみよう」 ・「自分や身近なもののマークを考えよう」 ○ デザインと社会のつながりの例を示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「地域のマークを調べてみよう」

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑨表現及び鑑賞の活動における言語活動の工夫
方法	発想や構想，鑑賞の場面における言語活動の示し方と具体例

		言語活動の示し方と具体例
開隆堂	発想・構想の場面	<p>第2・3学年 「安心と安全のデザイン」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 身の回りにあるデザインの例や生徒の作品，アイデアスケッチ及びコメントを記載したワークシートを例示し，発想・構想の方法を示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「ドア開閉安全マーク」 ○ グループで身近な課題を発見し，デザインの力で解決する言語活動を伴う活動例を示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「校内の安全を考えよう」 ○ 「学習のポイント」に，対話を促す記述がある。 <ul style="list-style-type: none"> ・伝わりやすいデザインの条件とは何か話し合ってみよう。
	鑑賞の場面	<p>第2・3学年 「ポスターで伝える」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 作家や生徒の作品を掲載するとともに，表現意図や作者の言葉を示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・川をきれいにし，清流に住むカワセミを呼びたいと思いました。輝いているように水しぶきを多く描きました。 ○ 「学習のポイント」に，対話を促す記述がある。 <ul style="list-style-type: none"> ・伝わりやすいポスターの条件とは何か話し合ってみよう。
光村	発想・構想の場面	<p>第2・3学年 「みんなのためのデザイン」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 身の回りにあるデザインの例や生徒の作品を掲載し，目的に応じた機能やデザインについて説明している。 ○ 生徒作品及び企画書等を例示し，発想・構想の方法を示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「しよるじょー」
		<p>第2・3学年 巻末「学習を支える資料」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「発想を広げる」のページを設け，言語活動例を複数示している。
	鑑賞の場面	<p>第2・3学年 「メッセージを伝える」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 作家や生徒の作品を掲載するとともに，表現意図や作者の言葉を示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・赤いハートで，諦めずに走り続ける心を表現しました。人をオレンジから黄色のグラデーションにしたのは，熱が伝わってくるイメージです。後ろの心電図のような模様で，最後まで自分のペースでやり遂げてほしいという思いを表現しました。 ○ 鑑賞を深めるための対話を促す記述がある。 <ul style="list-style-type: none"> ・ポスターを見て，メッセージを伝えるために，それぞれどのような工夫がされているか話し合おう。

【美術】

日 文	発 想 ・ 構 想 の 場 面	<p>第2・3学年 上 「使う人の立場で考える 暮らしやすさのデザイン」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「造形的な視点」を吹き出しで示すことで、対話を促している。 <ul style="list-style-type: none"> ・形をどのように機能に生かしているだろうか。 ○ 観察レポートを掲載し、どのような工夫がされているかを示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「プラスアルファのあるデザイン」 ○ 身の回りにあるデザインの例や生徒の作品を掲載し、目的に応じた機能やデザインについて説明している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「ポンプ式ハミガキ粉」 ○ 生徒作品及び企画書等を掲載し、発想・構想の方法を示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「星のキシゴム」
		<p>第1学年 巻末「学びを支える資料」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「発想・構想の手立て」のページを設け、アーティストが創作活動をする際の具体的な言語活動を示している。
	鑑 賞 の 場 面	<p>第2・3学年 上 「イメージの力で伝える その一枚が人を動かす」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「造形的な視点」を吹き出しで示すことで、対話を促している。 <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすいポスターは、どこに工夫があるだろうか。 ○ 作家や生徒の作品を掲載するとともに、表現意図や「作者の言葉」を示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・生命力のある植物を未来にたとえ、その一つ一つが「Piece」であり、集まって一つの顔を表しています。